

大腸癌手術における大腸ステントの検討

◆ 研究の対象となる方

2023年4月1日から2026年3月31日までに済生会福岡総合病院外科で大腸癌の切除手術を受けられた方

◆ 目的・方法

閉塞性大腸癌に対しては、大腸ステントを留置した後に待機的手術を行う Bridge to Surgery (BTS) 戦略が広く用いられています。BTS は緊急手術を回避し、全身状態の改善を図ったうえで手術を行うことが可能であり、周術期成績の改善が期待されています。

本研究では、当院における大腸癌手術症例を対象として、大腸ステント留置の有無による周術期経過を後ろ向きに解析し、大腸癌手術における BTS 戦略の臨床的有用性を検証することを目的とします。

◆ 研究に使用する情報

年齢、性別、身長、体重、入院経過や合併症情報、DPC 収益、材料費・薬剤費など診療の中で得られた情報を使用します。

この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

◆ 個人情報の取り扱い

本研究の成果は学会等での公表を予定しておりますが、個人が特定されないよう加工した情報を用いますので、プライバシーは守られます。また、本研究以外の目的で使用することはありません。

◆ 研究への協力について

診療情報等が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象といたしません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することができます。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

| | |
|--------|---|
| 問い合わせ先 | 福岡県済生会福岡総合病院 外科 藤本 禎明 住所:福岡市中央区天神 1-3-46 電話:092-771-8151(代表) |
|--------|---|

以上